

施設敷地内環境整備委託仕様書

1. 件 名 施設敷地内環境整備委託

2. 場 所 東金市外三市町環境クリーンセンター敷地内

3. 履行期間 契約締結の翌日から令和8年1月31日まで

4. 作業数量

(1) 高木（落葉樹） 9本

(2) 高木（常緑樹） 20本

5. 委託内容

(1) 剪定作業

発注者が指定する場所（別紙平面図参照）にある樹木の樹冠の整正、混み過ぎによる枯損枝の発生を防止するため切詰や枝透かしなどを行うとともに、枯損枝については撤去するものとする。従来からあまり剪定を実施していない樹木や、大きい樹木については、樹高を切下げること。

(2) 枝等の処分

剪定した枝等は、受託者の責任において処分するものとする。

6. 作業の実施時期

福利厚生施設（入浴施設）に近接しているため、開館時間を除く月曜日、火曜日から日曜日の午前中を主とする。実施時期については両者協議のうえ決定する。

7. 現場体制

(1) 受注者は、技術及び経験を有する代理人を現場に常駐させ、所定の業務に従事させること。

(2) 受注者は、適正な作業の推進を図るために十分な数の作業員を配置し熟練を要する作業には 相当の経験を有するものを配置しなければならない。また、資格を要する機械を用いて行う作業については、有資格者がこれを扱うものとする。

8. 業務計画書

(1) 受注者は、本委託の実施にあたり、作業内容、手順、作業方法、安全対策などについての業務計画書を監督員に提出し、これを遵守し業務の履行に当たらなけれ

ばならない。

(2) 業務計画書には次の事項について記載しなければならない。

- ア 業務概要
- イ 計画工程表
- ウ 現場組織表
- エ 安全管理（安全訓練等の実施を含む）
- オ 主要機械等
- カ 施工方法
- キ 施工管理計画
- ク 緊急時の体制及び対応
- ケ 交通管理及び保安上の措置
- コ 環境対策
- サ その他必要事項

9. 安全研修・訓練等の実施について

(1) 安全・訓練等に関する施工計画書の作成について

受注者は、本委託内容に応じた安全教育及び安全訓練等の具体的な計画を作成し、業務計画書に記載しなければならない。

(2) 安全・訓練等の実施状況報告

受注者は、安全・訓練等の実施状況を報告するものとする。

10. 権利義務の譲渡等の禁止

受注者は、委託業務に係る契約により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは承継させ、又はその権利を担保の目的に供することができない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りでない。

11. 再委託の禁止

(1) 受注者の再委託は禁止するものとする。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。

(2) 受注者がやむを得ず第三者に再委託を行う場合、再委託先に本委託業務に係る契約に基づく一切の義務を遵守させるとともに、発注者に対しての責任も負わせるものとする。

12. 保安設備の設置及び現場管理

(1) 作業中の安全対策にあつては、現場環境に対応した十分な保安設備を施すこと。

(2) 現場内の整理、その他現場管理には細心の注意を払うこと。

(3) 現場内の作業用車両の通行に際しては、第三者等に十分な注意を払うこと。

- (4) 受注者が、監督員の指示に反して作業を続行した場合には、監督員は作業一時中止を命ずることができるものとする。
- (5) 作業終了時においては、速やかに使用機器等を搬出するとともに、作業現場付近を十分に清掃及び整理整頓すること。

1 3. 作業員の安全管理

- (1) 作業中は、ヘルメットや防護めがね等を着用するなど、十分な事故の防止及び作業員の安全を図ること。
- (2) 作業に使用する機材は、常に点検し、安全な整備をしておくこと。
- (3) 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)に準拠し、十分な事故の防止及び安全の徹底を図ること。
- (4) 万一事故が発生したときは、緊急連絡体制に従い、直ちに監督員及び関係官公庁等に報告するとともに、速やかに必要な措置をとること。

1 4. 完了検査

- (1) 受注者は、業務を完了したときは、下記に掲げる書類を発注者に提出しなければならない。
 - ア 業務完了報告書
 - イ 出来形書類(発生材処分伝票及び集計表等)
 - ウ 委託写真(作業前、作業中、完了)
 - エ その他発注者が必要と認めた書類
- (2) 受注者は、検査を受ける際には、受注者又は代理人が必ず立ち会うものとする。
- (3) 受注者は、検査に必要な図書などについて、発注者の指示に従わなければならない。
- (4) 検査は、受注者の提出した委託写真等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には、再度業務を行うこと。なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

1 5. 委託料金の支払い

委託料金の支払いは、業務完了後に本仕様書14の「完了検査」を受け承認を受けたうえで委託料の請求を行うものとする。

1 6. 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、故意又は過失により発注者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、発注者がやむを得ないと認めた場合は、この限りでない。
- (2) 受注者の責めに帰すべき事由により、受注者が第三者へ損害を与えたときは、直

ちに監督員に報告するとともに、受注者はその損害を賠償しなければならない。

17. その他

- ・作業箇所となる構内通路や駐車場では収集車両及び一般車両等が通行しているため、通行車両を確認しながら十分に注意を払うこと。
- ・受注者の不注意により当施設の破損や通行車両、利用者へ損害を与えた場合は、受注者の責任により誠意をもって対応すること。
- ・その他この仕様書に定めのない事項については、両者協議のうえ定めることとする。